

キャベツ子葉奇形苗の選別除去と差し替え効果

キャベツセル成型苗育苗において発生する子葉奇形苗を、定植前に欠株と併せて正常苗と差し替えると、不結球株の発生が少なくなり結球の揃いが高まる。

県内で主に使用されているキャベツ品種（YR青春二号、夏さやか）では、子葉の形態に異常を示す株が3～8%程度発生している。

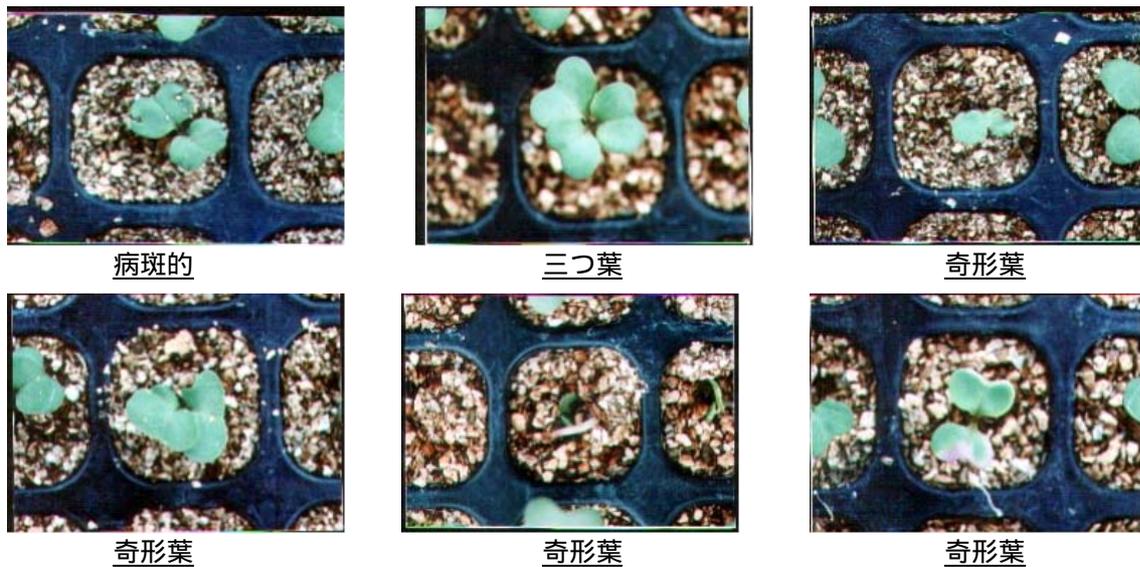


図1 キャベツ子葉に発生する主な奇形葉

これらの子葉に異常を示す株は、正常苗に比較し不結球株の発生が多く、調整重の揃いが悪くなる。

表1 子葉奇形が収穫時の生育に与える影響

試験区	調整重		規格別割合(%)				不結球株率(%)
	(g)	CV(%)	2L	L	M	外	
YR青春二号 正常苗	1278	18.5	47.5	37.5	12.5	2.5	0.0
病斑的	1015	28.8	13.9	26.2	47.6	12.4	10.5
三つ葉	1067	35.9	26.1	36.7	16.1	21.1	21.1
奇形葉	946	42.8	13.8	22.1	28.2	35.9	29.6
夏さやか 正常苗	1239	19.0	40.0	41.7	15.0	3.3	0.0
病斑的	1167	19.9	30.2	36.1	30.4	3.3	1.7
三つ葉	1213	14.5	38.3	38.6	21.4	1.7	0.0
奇形葉	1078	28.8	32.2	13.8	39.6	14.3	1.8

品種：YR青春二号、播種日：平成13年6月1日、調査日：8月1日

品種：夏さやか、播種日：平成13年6月5日、調査日：9月12日

規格割合は、県青果物出荷規格による。不結球株率は規格外区分の内数

表2 苗選別が収穫時の生育に与える影響

試験区	調整重		規格別割合(%)				不結球株率(%)
	(g)	CV(%)	2L	L	M	外	
YR青春二号 慣行	1160	25.1	27.5	35.0	27.5	7.5	5.0
差し替え	1278	18.5	47.5	37.5	12.5	2.5	0.0
夏さやか 慣行	1153	19.3	31.7	30.0	35.0	3.3	1.7
差し替え	1239	19.0	40.0	41.7	15.0	3.3	0.0

耕種概要は表1と同じ

子葉に異常を認められた苗を選別除去することで、収穫球の揃いが良くなり、さらに不結球株の発生が少なくなる。(表2)